

9条改憲 大軍拡 医療費4兆円削減… 高市政権で大丈夫?

自民・維新の連立政権と正面から対決する

日本共産党をのばしてください

自民党と日本維新の会が連立政権樹立で合意。合意書には、憲法9条改定にむけての「両党の条文起草協議会の設置」や、医療費4兆円削減の具体化、「スパイ防止法」の制定、選択的夫婦別姓を封じこめる通称使用の法制化など、悪政推進のオンパレードです。

裏金も企業・団体献金も温存

民意切り捨て 衆院比例定数削減ストップ

重大なのは、衆院議員の定数1割削減へ法案を国会に提出し、成立をめざすことです。

狙われているのは比例定数で、悪政推進へ、民意を切り捨てるという表明です。

日本共産党は定数削減反対の一点で、政党・会派、議員個人、広範な人々に共同をよびかけます。

減税公約議員が衆参で多数

消費税減税

年11兆円の大企業への減税バラマキ
やめれば、消費税減税はできます



トランプ政権が年21兆円「防衛費」要求

大軍拡よりいのち・暮らし優先を

教育、医療、
介護、農業の
予算を増やそう

国が緊急支援して 医療・介護の危機打開

病院・介護施設がなくなる?!——大軍拡の一方で、社会保障費の抑制がつづき、医療も介護も崩壊の危機に。

さらに、自民・維新と、公明、国民民主、参政は、解熱剤やかぜ薬、アトピー治療薬などの保険適用を外し、何十倍も患者負担を増やそうとしています。

賃上げとセットで 労働時間短縮を

ただ働いて、食べて、寝るだけの生活でいいのでしょうか。

中小企業を直接支援して、大企業の内部留保増を賃上げに回せ。

大企業の内部留保
333.5兆円 ↑ 539.3兆円
(2012年) (2023年)

差別・デマ拡散NO!

「外国人が優遇されている」などとデマを流し、対立をあおる排外主義は許せません。生活苦の原因は外国人でなく、自民党政治です。

全国知事会が排外主義NO!の「青森宣言」

参院選直後の全国知事会議の宣言に「排他主義、排外主義を否定し、多文化共生社会を目指す…」との文言が盛り込まれました。

極右・排外主義勢力の危険に立ち向かう

“新しい国民的共同”を

いま、自民・維新と、国民民主、参政による社会保障の大改悪や、大軍拡の暴走、憲法の改悪、ジェンダー平等への逆流など、日本の政治に逆行をもたらす危険が生まれています。

日本共産党は、この反動ブロックの危険に正面から対決する“新しい国民的・民主的共同”をよびかけました。あなたのまちから、日本共産党をのばして希望ある政治をごいっしょにつくりましょう。



ジェンダー平等・平和 共に——田村智子委員長らが、婦団連役員と懇談=党本部(2025年10月14日)



地方に住んでいて東京の国立大学進学を目指しているが金の工面が大変。(10代)

外国人排除を掲げる人が目立っていて不安を覚える。(30代)

どんなに頑張っても、女性だから、母親だから妻だからという理由で、当たり前と思われること。(40代)

インフラは田舎ほど悪くなっています。バスとは言わず巡回してほしい。(50代)

要求アンケート2025実施中 第2弾



あなたの声で政治動かす

日本共産党

住民の利益のために献身することこそ、日本共産党の立党の精神です。みんなの声をいかすために、要求アンケートを実施中。

地方議会でも、学校給食費の無償化や駅にエレベーター設置、災害支援など、寄せられた声をいかして、実現の力になっています。

大企業中心、アメリカいなり 自民党政治のゆがみただす

「くらしが楽にならないのは?」「軍事費が増やされるのは?」――「財界・大企業中心」「アメリカいなり」の自民党政治が原因です。日本共産党は、この2つの政治のゆがみをたたし、国民みんなが豊かで平和な日本をめざしています。

政党助成金315億円山分け(2025年度決定額)	
共産	受取拒否0円
自民	131億6242万円
立民	80億1709万円
維新	31億6021万円
公明	25億0384万円
国民民主	22億3470万円
れいわ	9億6540万円
参政	9億1468万円
社民	2億8289万円
保守	2億4706万円
みらい	4819万円

企業・団体献金も政党助成金も受け取らない党だから、裏金を暴き、「政治とカネ」を徹底追及。自公連立崩壊へ追い込む力になりました。

政治のゆきづまりを 国民と共同して変える



参院選「オール沖縄」のタカラさちか候補必勝の政黨演説会=那覇市内(2025年7月14日)

私たちの綱領には、統一戦線――思想信条の違いを超えて、一致する目標や要求で共闘し、政治を変えていくという立場が明記されています。

つねに要求にもとづく国民との共同、統一戦線によって政治を前へ動かすために力をつくすのが日本共産党です。



インドネシアのハッサン・ウィラユダ元外相と会談=ジャカルタ市内(2023年12月21日)

「東アジア平和提言」を力に野党外交 反戦・平和をつらぬく

かつて、すべての政党が侵略戦争に賛成するなかで、命がけで「戦争反対」の旗を掲げ続けたのが日本共産党です。だから戦前も戦後も、同じ名前のままです。

いま、「東アジア平和提言」を提唱し、東南アジア諸国と協力して平和なアジアをつくる野党外交にとりくんでいます。

貧困をなくし、自由が花開く社会へ 日本共産党がめざす未来です

止まらない格差の拡大、気候危機…。いま、「資本主義のままでいいのか」の問いかけがおこっています。

人類は資本主義をのりこえる力を持っている。未来社会では、労働時間を抜本的に短縮し、「自由な時間」を生活の中心にすえる――日本共産党がめざす社会主義・共産主義です。



Q&A いま「資本論」がおもしろい 志位和夫著
アメリカでは半世紀ぶりに『資本論』の新しい英訳がだされ、第4次マルクス・ブームに。『資本論』第1部を、若者とのQ&Aでわかりやすく語られた最新刊。あなたもぜひお読みください。



ジャーナリズム賞多数受賞
しんぶん赤旗 日曜版

電子版 START

月々
990
円

「裏金」問題のスクープで自民党をおいつめた、あの「しんぶん赤旗日曜版」が、みなさまのご要望におこたえし、ついに電子版に。タブレットなく真実を伝え、お役立ち情報が満載。ぜひご購読ください。



申し込みは
こちら

日刊(紙・電子版) 月3497円

日刊電子版、紙の日曜版は3週間無料でお試しできます